

様式第6号その1（第5条関係）

令和2年4月20日

三鷹市議会議長様

会派名 いのちが大事

代表者氏名 嶋崎 英治



令和元年度三鷹市議会政務活動費実績報告書

令和元年5月10日付け31三議第161号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1 交付決定を受けた額 | 891,000円 |
| 2 調査研究の成果及び収支決算書
別紙のとおり | |



様式第6号その2（第5条関係）

調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	891,000	27,000円×11ヶ月×3人
2 その他の収入		
計	891,000	

(2) 支出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	206,906	視察参加費、講座受講料
2 調査旅費	4,640	視察旅費、宿泊費
3 資料作成費		
4 資料購入費	169,698	書籍、雑誌
5 広報費	300,786	会派広報紙 印刷費、配布委託料、会場費
6 広聴費		
7 事務費	33,278	コピー代、コピー用紙、プリンターインク代
計	715,308	

差引額（収入－支出） 175,692 円 （残額分 175,692円は市へ返還）

1 各種研修会・研究会及びシンポジウム、セミナーに参加

<主なもの>

- (1) 市民と議員の条例づくり交流会議 2019（第 19 回）つなぐ議会改革（7/28）、全国地方議会サミット～チーム議会が地域をよりよくする～（8/1～2）に参加し、全国の自治体議会改革に学び、三鷹市議会代表者会議にその資料を配布しながら議会改革案を提案した。
- (2) 東京自治研究センターの財政学校等に参加、財政研究会「幼児教育・保育無償化自治体財政」（7/3）と「地方財政計画と、近年の災害対策費」（2/5）、市民自治を目指す三多摩議員ネットワークの合宿・議会報告意見交換会等に参加した。自治体政策・財政をめぐる課題を学び、三鷹市の財政分析・政策提言に生かした。
- (3) 福島原発震災情報連絡センター研修会（5・16～17）反原発自治体議員・市民連盟第 7 回「福島を忘れない！シンポジウム・現地見学会に参加。東京電力福島原発大惨事の被害自治体の議員、市民から、「3.11」以降の現状と課題についての報告・問題提起を受けました。現地の自治体議員から「帰還許可」後も、高齢者以外は帰れない住民の実態は深刻でした。フィールドワークでは、子どもの姿は全く見ることはできませんでした。原発事故後の現実の深刻さを学び、改めて脱原発・脱被曝政策の重要性を認識し、三鷹市の政策のあり方について言及した。
- (4) 全国フェミニスト議員連盟サマーセミナー in 熊本（7/6～7）参加、ジェンダー平等、人権等について学び、政策提言にいかした。

2 いのちが大事議会レポート発行

- (1) 2020年2月号 「三鷹駅前再開発 超高層 100mタワーNO！～子どもが輝く三鷹に～ 市民の声を聴くつどい」を発行。
4万5千部を新聞折込、約5,000部を手配り等した。

- 3 市民の声を聴くつどい（2020年3月1日（日） 三鷹市民協働センター）を企画。
新型コロナウイルス感染症対策として、ネット中継に切替え、フェイスブックでのライブ中継、YouTube で録画中継をした。

4 書籍・資料・出版物購入

- 政策研究、政策づくりの参考にし、予算編成について意見・要望書にいかした。
意見書・決議案作成の資料としたり、一般質問、代表質疑、予算・決算審査、議案審査等に生かした。